

普通交付税交付基準額 合併算定替と一本算定の乖離額の推移 (単位：千円)

	鶴岡市			酒田市			庄内町			乖離額 合計
	合併算定替	一本算定	乖離額	合併算定替	一本算定	乖離額	合併算定替	一本算定	乖離額	
平成18年度	18,801,785	15,635,937	3,165,848	12,424,768	10,789,824	1,634,944	3,949,545	3,601,940	347,605	5,148,397
平成19年度	18,359,815	15,079,265	3,280,550	12,403,157	10,759,342	1,643,815	3,995,954	3,621,025	374,929	5,299,294
平成20年度	19,455,134	16,177,414	3,277,720	13,125,610	11,334,047	1,791,563	4,142,255	3,712,696	429,559	5,498,842
平成21年度	19,439,578	16,245,052	3,194,526	13,562,742	11,813,438	1,749,304	4,213,469	3,791,803	421,666	5,365,496
平成22年度	20,611,029	17,274,428	3,336,601	14,782,651	12,927,413	1,855,238	4,573,272	4,095,551	477,721	5,669,560
平成23年度	20,848,478	17,019,402	3,829,076	15,047,114	12,968,325	2,078,789	4,589,081	4,033,775	555,306	6,463,171
平成24年度	20,973,924	16,957,420	4,016,504	14,743,260	12,683,621	2,059,639	4,565,376	3,971,650	593,726	6,669,869
平成25年度	21,132,077	17,051,809	4,080,268	14,964,125	12,747,053	2,217,072	4,564,633	3,939,878	624,755	6,922,095

	乖離額の割合		
	鶴岡市	酒田市	庄内町
平成18年度	16.84%	13.16%	8.80%
平成19年度	17.87%	13.25%	9.38%
平成20年度	16.85%	13.65%	10.37%
平成21年度	16.43%	12.90%	10.01%
平成22年度	16.19%	12.55%	10.45%
平成23年度	18.37%	13.82%	12.10%
平成24年度	19.15%	13.97%	13.00%
平成25年度	19.31%	14.82%	13.69%

地方交付税の合併算定替と一本算定の差額は年々拡大し、将来は3市町で庄内から約69億円が失われることに

乖離率が拡大し合併デメリット大きく

交付税1本算定で失われる40億円 合併した庄内3市町で70億円も



2014年10月12日
第969号
編集発行
日本共産党藤島支部
生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。
発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい
(月177円程度)
10月 8人 5,705円
9月 41人 28,583円

国が進めた平成大合併の最大の目的である地方交付税の削減額(合併算定替と一本算定の乖離額)は、平成25年度の計算では鶴岡市で40億8千万円で、24年度と比較し6400万円拡大しています。

酒田市(22億1千万円)、庄内町(6億2千万円)を合わせると69億2千万円と計算され(上表)、合併算定替が平成28年度以降段階的に削減され、32年度で現実のものとなります。乖離額の割合は年々拡大されています。

県内では庄内地方だけが合併を進めたために、約70億円もの減額で内陸との経済格差がますます広がるということになります。

小規模町村へ重点配分

旧市町村単位で計算された交付税は、25年度では旧鶴岡が△1867万円、5つの旧町村はいずれもプラスとなっており、小規模町村に重点的に配分される傾向が強まっています。(下表左)

周辺部は「損」

25年度の交付税を鶴岡市全体の1人当たり平均額でみれば15万4670円で、旧市町村ごとの1人当たりの額と比較すると、旧藤島町は21万4569円から5万9899円「損」をし、逆に旧鶴岡市は10万0846円で5万3824円「得」をしていると見ることがもできます。(下表右)

合併で周辺部は確実に「損」をしています。

普通交付税交付基準額 (単位：千円)			
	平成25年度	平成24年度	差引
合併算定替	21,132,077	20,973,924	158,153
旧鶴岡市	9,606,620	9,625,295	-18,675
旧藤島町	2,375,062	2,338,534	36,528
旧羽黒町	2,300,998	2,259,901	41,097
旧櫛引町	1,953,139	1,923,851	29,288
旧朝日村	2,338,678	2,318,321	20,357
旧温海町	2,557,580	2,508,022	49,558
一本算定	17,051,809	16,957,420	94,389
(合併算定替)-(一本算定)	4,080,268	4,016,504	63,764
普通交付税額	21,132,077	20,973,924	158,153
標準財政規模	40,033,924	39,340,131	693,793

人口1人当たり(円)	平均との乖離額	H22国調人口
154,670	0	136,627
100,846	53,824	95,260
214,569	-59,899	11,069
254,001	-99,331	9,059
250,499	-95,829	7,797
487,733	-333,063	4,795
293,941	-139,271	8,701

交付税1人当平均額と旧市町村ごとの平均額との差額では、旧町村が「損」をしている



こりす保育園運動会(10月4日)



いなば幼稚園運動会(9月27日)

映画「奇跡のリンゴ」の木村秋則氏が講演 農業は地球環境の保全を考えるべき



庄内農高 地域連携協議会

苦難を乗り越えて成功
温度差のない土壌環境
し、「自然栽培」を確立
にすること。無肥料・
しました。無農薬の土づくり、自
然栽培の農法で実現で
きる」と話しました。

木村氏は、「私が失敗
した原因は、単純な無
肥料・無農薬栽培をし
ただけだったこと。土
の上ばかり見て、根を
考えていなかった。自
然の山のドングリの木
に学び、見えない土の
中を知ること気がつい
たこと。地下深く10cm
ごとに土の温度を調べ、
と熱く語りました。

「岡山県立興陽農業
高校や宮崎県立高鍋農
業高校などで自然栽培
が始まっている。農業
は地球環境の保全を考
えるべきだ。今、何を
するべきか。一歩前に
出る生き方をしよう」
と熱く語りました。



長年の苦難の末に無
農薬・無肥料による自
然栽培を確立したリン
ゴ農家で、映画「奇跡
のリンゴ」のモデルと
なった木村秋則氏を迎
え、8日、庄内農業高
校体育館を会場に講演
会が開かれました。

主催は、庄内農高を
地域で応援しようと昨
年6月設立した「庄内
農業高等学校地域連携
協議会」（会長・田中壽
一・JA庄内たがわ専
務）で、高校生の他、
地域からも約150人
が参加しました。

不可能への挑戦

講演テーマは、「奇跡
のリンゴ」不可能への
挑戦」で、木村氏は1
971年からリンゴ栽
培を中心に農業に従事
し、妻が農薬で健康を
害したことをきっかけ
に7年から無農薬・無
肥料栽培を研究。10年
近い無収穫、無収入の

「安倍首相の顔も見たくない テレビも消すもの！」

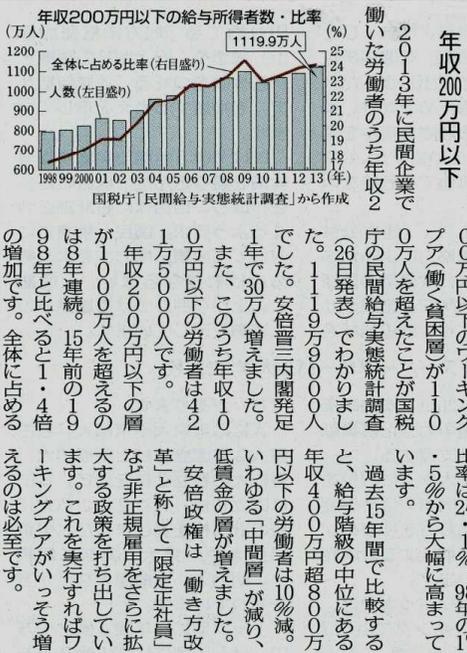
—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

関とおる県議候補の
挨拶回りに同行したと
きのこと、あるお母さ
んが吐き出すように言
ったことである。「私も
だ！」とつさに意気投
合した。「みな駄目だも
の！」と言葉を続ける。
関とおる県議候補もチ
ラシを示し、駄目な内
閣やめさせるため、来
春の県議選でぜひ共産
党の私を！と力を込め
る。

さて駄目のダメ押し
である。しんぶん赤旗
9月30日付、「働く貧困
層1100万人超 安
倍政権発足1年で30万
人増」という国税庁の
民間給与実態統計調査
記事である。働く貧困

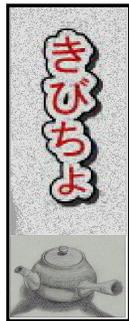
働く貧困層 1100万人超

安倍政権発足1年で30万人増



しんぶん赤旗9月22日付

層とは年収200万円
以下のいわゆるワーキ
ングプアと言われる人
々で、2013年の統計
である。年収200
万円以下の人々が10
00万人を超えるのは
8年連続で、15年前の
1998年と比べると
1・4倍の増加、全体
に占める比率も、98年
の17・5%から24・1
%、ほぼ4人に1人と
大幅に高まっているの
だ。



NHKの真逆

この頃NHKの経営
委員である百田氏が、
先日亡くなった元衆議
院議長を務めた方（土
井たか子氏）に暴言を
吐いたと問題になった。
▼それは飲み屋での酔
っ払いのレベルの言動
で、NHK経営委員と
しての人格も品位も疑
われると報じられてい
た。

▼なぜそんな人が選ば
れて委員になるのか、
憤りを感じるが、ある
番組を見ていてアタマ
に来たものがあった。

▼それは、生活保護以
下の年金額で暮らして
いる方々を映したもの。
見られた方も多いと思
うが、「困ってる人達が
全員生活保護を受ける
ことになったら、制度
がこわれてしまう」と
いう言い方、だ。

▼ここに映った方々は
食費を確保するに精一
杯で介護を受けられな
いのは勿論、医者にも
行けない金銭状況。

さらに年収400万
円超800万円以下の
労働者が10%減少し、
いわゆる中間層が低賃
金層に移っている。そ
のうえ安倍政権が、国
会に再提出した労働者
派遣法改悪案が決定さ
れば、非正規雇用を
いっそう拡大させ、ワ
ーキングプアが増える
のは必至でしょう。「安
倍見たくない」ストレ
スが増すばかりだ。

▼憲法第25条、最低生
活の保障も伝えている
のだから、どうすれば
生活保護を受けられる
かを説くべきだが、制
度がこわれるという真
逆の言い方は、あんな
経営委員がおり憲法は
「守るもの」という認
識がないからだ。

▼戦後の復興に頑張り、
まじめに税金を納めて
きた方々だ。生活保護
を受ければ医者はタダ
になり、早く死にテー
なんて言わなくてもよ
くなるんだがナ。

▼少ない年金が毎年少
しずつ減るし、アベノ
ミクスで物価が上がる。
40年掛けても月6万数
千円という額が問題だ
が、それに達してない
人も多いんだし、千四
百数十万人と言われた
生活保護受給者は大き
く増えていることだろ
う。

▼食費をつめてまで納
めてきた人も多いでし
ょうに。なぜ暮らせな
い国民年金なんだ。こ
を問題にすべきです
よ、NHKは。(石川)